

齊藤マサヨシ写真展

サハリンに残された日本

Японский след на Сахалине

樺太の面影、そして今

かつてサハリン（樺太）の北緯 50 度線には日本の国境があった。
日本の領土であった南樺太には 40 万人以上の日本人が暮らしていた。
70 年以上たったいまも、サハリンには日本人の足跡が数多く残されている。
10 年以上にわたってサハリン各地に、今も残る日本の面影を訪ねた。

・ 2017 年 10 月 1 日（日）～31 日（火）10 時～21 時

・ 丸善書店名古屋本店 6 階イベントスペース



トークショー 齊藤マサヨシが写真を映写してサハリンを語ります

・ 2017 年 10 月 7 日（土）14 時～16 時 丸善書店名古屋本店 1 階 参加無料（各 30 名）

第一部 14 時～ 「サハリン北緯 50 度国境紀行」 終了後サイン会

第二部 15 時～ 「サハリンに宮沢賢治とチェーホフを訪ねて」

・ 主催 丸善書店名古屋本店 後援 NPO 法人国境地域研究センター

※問い合わせは丸善書店名古屋本店 1 階サービスカウンター TEL052-238-0320

第 101 回

丸善ゼミナール